

2019年11月14日

より創造力を加速させる機能を搭載した音楽制作ソフトウェアのアップデート版を発売 スタインバーグ ソフトウェア 『Cubase 10.5』

株式会社ヤマハミュージックジャパン（東京都港区）は、Steinberg Media Technologies GmbH（ドイツ ハンブルク、以下、スタインバーグ社）が開発した、音楽制作用デジタル・オーディオ・ワークステーション（以下 DAW）・ソフトウェア『Cubase Pro 10.5（キューベース プロ 10.5）』と、その機能を厳選して搭載したミッドレンジグレード『Cubase Artist 10.5（キューベース アーティスト 10.5）』を11月14日（木）に発売します。



スタインバーグ ソフトウェア 『Cubase 10.5』

『Cubase 10.5』は、作曲、アレンジ、レコーディング、波形編集、ミキシングなどをサポートする総合音楽制作ソフトウェアの最新バージョンです。今回のバージョンアップでは、クリエイターやエンジニアに寄り添った機能が追加され、より快適な制作が可能な DAW ソフトウェアへと進化しました。

また、用途と価格で選べる 3 種類のグレードを用意しており、プロフェッショナルなニーズにも応える『Cubase Pro 10.5』、音楽制作機能を厳選して搭載したミッドレンジグレードの『Cubase Artist 10.5』、エントリーグレードの『Cubase Elements 10.5』（近日発売予定）と、いずれもクリエイター/アーティスト/ミュージシャン/エンジニア/プロデューサーの創造力を加速させる最高のパートナーとなります。

品名	品番	価格	発売日
スタインバーグ ソフトウェア 『Cubase Pro 10.5』	CUBASE PRO /R (通常版)	オープンプライス	11月14日
	CUBASE PRO /E (アカデミック版)	オープンプライス	
	CUBASE PRO CG (クロスグレード版)	オープンプライス	
スタインバーグ ソフトウェア 『Cubase Artist 10.5』	CUBASE ART /R (通常版)	オープンプライス	
	CUBASE ART /E (アカデミック版)	オープンプライス	

※アカデミック版は、学生、学校教員の皆様向けの優待販売版です。ご購入の際は、学生証、教員証等のコピーが必要となります。

※エントリーグレードの「Cubase Elements」は近日発売予定です。

■ 一般の方のお問い合わせ先：

スタインバーグ・コンピューターミュージック・インフォメーションセンター <https://japan.steinberg.net/jp/support.html>

◎ アップデート・アップグレードについて

『Cubase10.5』へのアップデート・アップグレードは、Steinberg Online Shopにてお買い求めいただけます。詳しくは、Steinberg Online Shopをご参照ください。 <https://www.steinberg.net/jp/shop/>

◎ 特別優待期間（Grace Period：グレースピリオド）について

2019年10月17日以降に「Cubase Pro」「Cubase Artist」「Cubase Elements」をご購入されライセンスのアクティベートをされたお客様は、MySteinbergを通じて無償で『Cubase10.5』のライセンスを入手いただけます。詳細はスタインバーグサイトにてご案内します。

◎ スタインバーグ サイト <https://japan.steinberg.net>

< 『Cubase 10.5』の主な新機能 >

1. EQとスペクトラルカーブの比較モード（『Cubase Pro』）

ミキシングプロセスをアシストするため、1つのEQディスプレイ内でEQ設定を編集し、2つのチャンネルのスペクトラルカーブを重ねて表示できるようになりました。また、比較先のチャンネルのEQ操作もできるため、2チャンネル間のEQ処理が1ディスプレイの中で完結できます。この機能を利用することで、キックとベースの住み分けのような楽曲内の帯域の重なりをなくす編集が容易になります。



EQとスペクトラルカーブの比較モード

2. オブジェクト選択ツールと範囲選択ツールの結合（『Cubase Pro』『Cubase Artist』）

ツールバーで「選択ツールを結合（Combine Selection Tools）」をオンにすることで（オブジェクト選択ツールの左側）、オブジェクト選択ツールと範囲選択ツールを同時に使用できます。カーソルがトラックの上半分にある際は範囲選択ツール、下半分にある際はオブジェクト選択ツールとなり、ツールを変更する手間がかかりません。



3. MultiTap Delay プラグイン搭載（『Cubase Pro』『Cubase Artist』）

タップ(最大 8 個)の量を調節できるディレイエンジンを備えた新しいディレイプラグインが搭載されました。それぞれのタップごとにボリュームやパンの調整が可能となっており、ディレイのサウンドそのものも調整可能です。また、ディレイ音に対して 14 種類のエフェクトの中から選択してエフェクトチェーンを作成することができ、タップごとに調整も可能です。



4. 非録音時の MIDI 入力データ記録の改善

停止モードまたは再生中に演奏した MIDI ノートを、より簡単にそして便利に取り込めるようになりました。今回下記の改善を加えています。

- ・各トラックで演奏される MIDI データを取り込むために、MIDI トラックまたはインストゥルメントトラックごとに MIDI データ記録用のバッファを用意しました。
- ・サイクルレコーディングした際に、記録した MIDI データを 1 つの連続した（直線的な）MIDI パートとして挿入するか、スタックされた MIDI パートとして挿入するかを選択できるようになりました。
- ・記録操作はインスペクターで行えます。



5. 「プロジェクトからトラックを読み込み (Import Tracks from Project)」の改善 (『Cubase Pro』)

より多くのトラックタイプをサポートし、読み込む属性をより詳細にコントロールできるよう拡張されました。トラックのイベントはもちろん、チャンネルとインスペクターの設定のみの読み込みなど、より細かい情報を抽出して読み込むことも可能です。



トラックの読み込み画面

6. ビデオの書き出しに対応

プロジェクトまたは特定の範囲のビデオとステレオオーディオチャンネルを MP4 ビデオファイルとして書き出すことができるようになりました。



7. Padshop 2 (『Cubase Pro』『Cubase Artist』)

「Padshop」と「Padshop Pro」の各バージョンとファクトリーコンテンツを統合し、さらに新しい機能とコンテンツを追加しました。



8. MixConsole チャンネルの色付けが可能に

MixConsole チャンネルの背景を、選択したチャンネルカラーで色付けできるようになりました。



9. スコアエディターの改善 (『Cubase Pro』)

- ・ 譜表名に複数のサブ名を設定できるようになりました。
- ・ 音符挿入時の位置ルーラーを用意しました。音符を入力または移動する際、1小節に1つタイムルーラーが表示されます。

10. ノーマライズの参照先としてラウドネスを使用

LUFsを使用するラウドネスを、ダイレクトオフラインプロセッシングの「ノーマライズ (Normalize)」を使用してノーマライズできるようになりました。



11. トラブルシューティングに便利なセーフスタートモード

サードパーティー製のプラグインを無効化した状態で Cubase を起動できるようになりました。不具合が発生したときの原因究明に役立ちます。

12. プロジェクトの自動有効化機能が無効に

従来のバージョンでは、複数のプロジェクトを同時に立ち上げた状態で有効化していたプロジェクトを閉じると次のプロジェクトが自動で有効化されていました。Cubase10.5では上記の際、有効化するプロジェクトを任意で選択することができます。

<動作環境>

	Mac	Windows
対応 OS	macOS Mojave (10.14) / Catalina (10.15)	64-bit Windows 10 (Version1809) 64-bit Windows 10 (Version1903)
CPU	64 bit Intel / AMD マルチコアプロセッサ (Intel i5 またはそれ以上を推奨)	
必要メモリー	推奨 RAM サイズ: 8 GB (最低 4 GB)	
ハードディスク	ディスク空き容量: 30 GB 以上 (Cubase Pro / Cubase Artist)、 20 GB 以上 (Cubase Elements)	
ディスプレイ	1,920×1,080 ピクセル以上 (最小 1,440×900 ピクセル)	
その他	USB 端子: USB-eLicenser 接続用 (『Cubase Pro』『Cubase Artist』のみ) OS 対応オーディオデバイス (ASIO 対応デバイス推奨) インターネット接続環境 (ブロードバンド推奨): インストーラーダウンロード、ライセンス認証、製品登録、アップデート用	

- * 『Cubase Elements』には、USB-eLicenser は同梱されません。
- * 上記の動作環境・推奨環境を満たしている場合でも、全てのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。コンピューターの総合的な性能によりパフォーマンスに違いがあります。
- * 上記動作環境は 2019 年 11 月 14 日現在のものです。動作環境は今後変更になる可能性があります。最新バージョンは Steinberg サイトでご確認ください。

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当: 佐藤

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや画像ダウンロードが可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

Steinberg・コンピューターミュージック・インフォメーションセンターウェブサイト

ウェブサイト <https://japan.steinberg.net/jp/support.html>